

# 産学官の 橋わたしに向けて



## 第2回技術委員会



12月12日に本機構にて令和5年度第2回技術委員会（委員長＝京都大学・松井三郎名誉教授）を実施しました。

本機構で実施する調査研究では、技術委員会をはじめとする学識経験者、国、地方公共団体、民間等の有識者で構成された各種委員会を設置・開催し、調査研究の内容を専門的かつ公平・客観的に審議し、成果を取りまとめています。

今回は、新規テーマ1件、継続テーマ5件、終了テーマ2件の、合計8件が審議されました。新規テーマは「下水処理場等におけるダイヤモンド・リスポンス活用に関する共同研究」、継続テーマは「下水処理場における $\text{N}_2\text{O}$ 排出量削減技術に関する共同研究」、「プラチナシステムを用いた脱炭素化技術の開発に関する共同研究」、「アセットマネジメントの実践に向けた次世代型マンホール蓋技術マニュアルに関する共同研究」、「管渠の部分補強の考え方に関する共同研究」、「蓄電池等を用いた樋門の電動化・遠隔化技術に関する共同研究」、終了案件は「下水処理場における省エネ型送風機の導入促進に関する共同研究」、「下水処理場における電気設備のレジリエンスに関する共同研究」です。

## 技術委員会の部門別委員会を開催

技術委員会の部門別委員会として、第1回調査検討支援委員会（11月6日）、第2回水処理・資源化技術評価共同研究委員会（11月15日）、第2回システム共同研究委員会（11月20日）、第2回汚泥処理・資源化技術評価共同研究委員会（11月28日）、第2回雨水対策共同研究委員会（11月28日）、第2回管路技術共同研究委員会（11月28日）を開催しました。

## 第79・80回下水道新技術セミナー

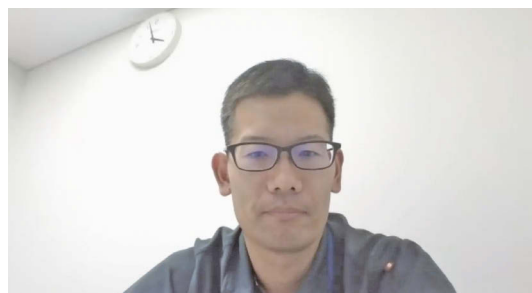
10月5日に第79回、12月5日に第80回の下水道新技術セミナーをどちらもWEBにて開催しました。

同セミナーは、国土交通省で作成した手引きや最新動向について、地方公共団体や民間企業等の技術者に広く理解・活用いただくことを目的に実施しています。

第79回では、「下水道事業における太陽光発電の普及に向けて」をテーマに実施しました。特別講演として環境省地球環境局地球温暖化対策課地球温暖化対策事業室の峯健介室長補佐が「上下水道事業での太陽光発電の普及に向けた国の取組みについて」と題し、カーボンニュートラルに向けた太陽光発電について導入パターン等を紹介されました。また、富良野市と廿日市市に、太陽光発電に関する事例を発表していただきました。

第80回は、テーマとして「持続可能な下水道事業運営に向けた官民連携の取組み～国の予算概算要求の概要や官民連携に向けた先進事例を紹介～」を掲げ、実施しました。特別講演として、国土交通省水管理・国土保全局下水道部の石井宏幸下水道事業課長が、下水道行政の最近の動向を紹介されました。また、宮城県、浜松市、三浦市、須崎市から官民連携に関する事例発表をいただきました。

第79回の峯室長補佐、第80回の石井下水道事業課長の特別講演内容については、本誌「講演ダイジェスト」コーナーで概要を掲載しています。



富良野市 建設水道部 上下水道課 下水道施設係  
沢崎博康氏（第79回）



宮城県 企業局 水道経営課 水道経営管理専門監  
臼井徹氏（第80回）

## 対面・WEB併用で技術サロン

令和5年10月～12月に下水道技術サロンを開催し、全国から多くの方々に参加していただきました。

第421回では東京農業大学名誉教授で全国土の会会長の後藤逸男氏が下水汚泥の肥料利用に関して、第422回では国土交通省水管理・国土保全局下水道部下水道国際・技術室長の西修氏がインドネシア・ジャカルタの下水道に関して、第423回では公益財団法人水道技術研究センター管路技術部長の熊谷岳志氏が水道管路の維持管理に関してご講演されました。いずれも対面方式とWEB方式を併用し実施しました。第421回、第422回は本誌「講演ダイジェスト」コーナーにて概要を掲載しています。第423回については、次号での掲載を予定しています。

